

教育子午線

Kyoiku-Shigosen

February
2009



●創立30周年特別企画

ドキュメント10・11

創立30周年記念式典を盛大に開催
さらなる「開かれた大学」へ

●教育最前線

なぜ、子どもの理数系学力は
低下したのか

●研究レポート

EMDRの抑うつ・PTSDに対する
効果の基礎的研究

●私たちの先生

大関達也講師(基礎教育学系)

●キャンパス通信

●うれしの交差点

ルポ:チアリーディング部「VIGORS」

教育大学・教育学部に今、大きな地殻変動が生じつつあります。国立大学を大幅に整理統合しようという動きです。具体的には将来の道州制への移行も念頭に置きつつ、ブロックごとに再編しようということが言われています。

この背景には、新しい時代に即した高等教育の基本構造をつくり直すこと、その中の国公私立の位置付けを再検討し、国が直接にかかわるべき高等教育の分野と役割を焦点化し直すこと、これによって国の高等教育に対する財政支出の在り方を合理化効率化することが主要な課

題となっているのです。

教員養成に関しては、「民ができることは民で」というスローガンが一部で声高に語られています。私立大学でやれる部分はできるだけ私立大学に任せようということですが、小学校教員として採用される教員の中で

私立大学出身の方がずっと多くなっているという現状もあります。しかも、私立大学で教員を養成した方が財政的にも有利という事情もあります。もつと言えば、国立の教育大学・教育学部の教員には教員養成を自らの使命として考えようと思わない人が多い、したがって情熱と使

を 学 大 育 教 な ル ヨ シ ナ

命感を持った教員の養成という点で問題があるという根強い指摘もあります。

こうした中で、兵庫教育大学は進むべき道をどう構想するか。兵庫県に根ざしつつも日本全体をにらんだ大学として、少々資金投入量は多くてもモデル的な教員養成・研修の機関として、そして教育実践研究を国際レベルで遂行する大学として、本学の未来像を考えなくてはなりません。新構想大学として使命を同じくする上越教育大学、鳴門教育大学とも連携しつつ、ナショナルな大学としての在り方を考えていきたいと思います。




学長 梶田 叡一 (かじ た せい いち)

10月

- 1日
 - ◎創立記念日
 - 4日
 - ◎大学院説明会(神戸)
 - ◎附属幼稚園運動会
- 
- 4日~12月20日
 - ◎公開講座「青年期を生きる」(全10回)
 - 8日~10日
 - ◎附属小学校5年生林間学校
 - 8日・22日、11月5日・19日
 - ◎まちの寺子屋師範塾「実践で学ぶ子育て支援」
 - 11日
 - ◎創立30周年記念講演会
 - ◎創立30周年記念式典
 - ◎創立30周年記念音楽会
 - ◎創立30周年記念祝賀会
 - ◎創立30周年記念同窓会研究会

- 11日~13日、16日~20日、22日~26日
 - ◎創立30周年記念美術展
- 13日
 - ◎大学公開
 - ◎創立30周年記念特別公開講座「北播磨における特別支援教育を考えるシンポジウム」
- 17日
 - ◎附属中学校研究発表会
- 18日、11月5日・26日
 - ◎創立30周年記念特別公開講座「子育て関連出前講座」
- 19日
 - ◎加東市共催「加東からオリンピックへ」
- 26日
 - ◎国際シンポジウム2008
- 27日
 - ◎中国・浙江師範大学との調印式
- 29日
 - ◎附属幼稚園第2回幼児教育研究会

11月

- 1日
 - ◎創立30周年記念特別公開講座「中学生のためのキャリア・フェア」
 - 2日
 - ◎創立30周年記念行事「チアリーディング演技会&よさこい演舞会」
 - 3日
 - ◎創立30周年記念特別公開講座「子育て・躰をこぼから」
 - 5日・7日
 - ◎附属小学校「附小っ子コンサート」
- 
- 8日
 - ◎教育実践高度化専攻(教職大学院)公開授業
 - ◎創立30周年記念特別公開講座「子育て支援講座:大人と子ども、共に育ち合うかわりの創造」

- 14日・15日
 - ◎附属中学校「友嬉祭」
- 15日
 - ◎大学院学校教育研究科入学者選抜試験(後期)
- 19日~21日
 - ◎附属小学校6年生修学旅行
- 22日・23日
 - ◎大学祭「嬉望祭」
- 23日
 - ◎創立30周年記念行事「オーケストラと音楽分野教員とのセッション」
- 29日
 - ◎創立30周年記念特別公開講座フォーラム「見つけよう 加東の歴史と文化」

12月

- 6日
 - ◎附属幼稚園「ふよっこカーニバル」
- 12日
 - ◎附属小学校マラソン大会
- 19日
 - ◎附属幼稚園第2学期終業式
- 24日
 - ◎附属小学校・中学校第2学期終業式

1月

- 8日
 - ◎附属小学校・中学校第3学期始業式
- 10日
 - ◎大学院説明会(神戸)
- 13日
 - ◎附属幼稚園第3学期始業式
- 17日・18日
 - ◎平成21年度大学入試センター試験
- 27日
 - ◎学部推薦入学者選抜試験
- 28日
 - ◎附属幼稚園第3回幼児教育研究会
- 29日・30日
 - ◎附属小学校研究発表会

【目次】

- 04 創立30周年特別企画
ドキュメント10.11
創立30周年記念式典を盛大に開催
- 06 記念行事には多くの市民が参加
さらなる「開かれた大学」へ
- 08 教育最前線
なぜ、子どもの理数系学力は
低下したのか
- 12 研究レポート
EMDRの抑うつ・PTSDに対する
効果の基礎的研究
市井雅哉(臨床・健康教育学系教授)
- 13 教育時事一問一答
教員の著書紹介
- 14 私たちの先生
大関達也講師(基礎教育学系)
- 15 卒業生からの手紙
- 16 キャンパス通信
- 18 うれしの交差点
ルポ:チアリーディング部「VIGORS」
- 20 兵庫教育大学からのお知らせ

企画 特別 30周年 創立



創立30周年記念式典を盛大に開催

昨年10月に創立30周年を迎えた兵庫教育大学では、10月11日に記念式典を挙行。それに合わせて、講演会や音楽会、祝賀会も開催しました。教育関係や地元自治体からも多数のご出席をいただき、華やかに節目の時を祝いました。



「教育と読書」 ※講演の一部を抜粋

中央教育審議会会長 山崎正和氏

私たちの周りには刹那的で、即効性がある、しかし陳腐化の早い情報があふれかえっています。

しかし、本に書かれている情報は、テレビやパソコン、携帯電話から流れてくる情報とは正反対のものです。まず、本は一つの脈絡を持った情報を伝えてくれます。どんなにちやちや本でも表紙を開くと目次が出てきます。目次には大略、その本に書かれている主要な材料なり、主題なりが並んでいます。そこで、私たちは一つの情報がどのように展開し、他の情報とどのように脈絡を結び、どのように飛躍し、どのように落ち着いていくかという、一連の少し大げさに言えば体系的な情報を身に付けます。それが今、非常に衰えています。ある情報が刺激として飛び込んでくると、ただちに私たちは報道で反応するという事態が進んでいるわけです。

大事なことは、物事を解釈するというは言葉だけができるということです。私たちは日々、事柄を解釈していますし、そもそも学問の大部分は実は解釈なのです。それはあらゆる学問の根底にある、あるいは人間の知識の根底にあるので、全体と部分は常に循環します。しかし、そのためには一つ一つの部分としての情報が刹那的に流れていたのでは成り立たないのです。これは引き止めなければいけません。引き止めて、全体と部分という関係をとらえなければ、私たちの知的活動は成り立ちません。そういう意味で、言葉というものは極めて大切なのです。

教育というのは、つまり共通の知識の共有ということは社会のためなのです。人間たるもの、この社会で生きている以上、つまり社会的存在である以上、コミュニケーションの義務というものを負っています。他人に不可解な異星人のような存在ではないということ自ら立証するということは義務なのです。



◎記念講演会

兵庫教育大学講堂
13時～14時30分

記念式典に先立ち、劇作家で中央教育審議会会長の山崎正和氏による講演会「教育と読書」を開催。講堂に集まった参加者は山崎さんのウイットに富んだ話に聞き入りました。

◎記念式典
兵庫教育大学講堂
14時45分～15時30分

文部科学省や国公私立大学長、兵庫県教育委員会関係者、連携協力校や協賛会の会員企業関係者などに、修了生・卒業生、教職員OBらを加えた約500人



神戸大学長 野上智行氏

学部生の教員就職率は平成15年度卒業生から18年度卒業生まで、全国の国立教員養成大学・学部の中で4年連続トップという実績があります。これは兵庫教育大学が創立当初のミッションにのっとり、素晴らしい教育実践をされてきた成果であり、心から敬意を表します。また、連合大学院の博士課程で研究指導能力を持った人材の輩出に努力されていること、そして今春開設された教職大学院に対する私どもの期待は極めて大きいものがあります。

兵庫教育大学が日本のみならず、世界の子どもたちの教育を考えるメッカとして、さらに発展されることを心から祈念しています。



文部科学大臣 塩谷立氏

近年の社会の大きな変動に対応し、国民の学校教育に関する期待に応えるためには、教員に揺るぎない信頼を確立させ、教育に求められる資質・能力を確実に身に付けさせることが重要であり、教員養成の充実、改善が強く求められています。

今後も兵庫教育大学には理念として掲げる、学校教育に関する理論的、実践的な教育研究を進める「教員のための大学」、学校教育の推進に対し国の内外に「開かれた大学」、教育実践の絶えざる改善・創造に向けて「発信する大学」を発展させ、教員の資質向上、優秀な教員の養成にさらなる貢献をされるよう期待しています。

代読/永山賀久氏(文部科学省高等教育局国立大学法人支援課長)



梶田学長のあいさつに続いて、井戸敏三兵庫県知事、山本廣一加東市長、上寺久雄名誉教授が祝辞を述べられました。鏡開きの後、渡邊隆上越教育大学長の音頭で祝杯を上げました。

17時45分～19時15分
加東市やしる国際学習塾
大会議室

◎記念祝賀会

この日のために編成したクラリネットを中心とするウインドオーケストラ、一流ソリストと音楽専攻の学生、地域のコーラスグループなどによる合唱団の総勢200人で、ブラームス「大学祝典序曲」とベートーヴェン交響曲第9番「合唱」を演奏しました。

16時30分～17時30分
L.O.Cホール
加東市やしる国際学習塾

◎記念音楽会

が出席。梶田毅一学長は式辞で「兵庫教育大学には現職教員の研修すなわち高い水準での学び直しを行うこと、質の高い教員の養成を行うこと、教育実践にかかわる高水準の研究を行うことという3つのミッションがある。今後も兵庫教育大学は3つのミッションを遂行し、国内だけでなく世界の教育の拠点となるように一層の努力をしていく」と決意を述べました。

記念行事には 多くの市民が参加 さらなる 「開かれた大学」へ

10月11日の記念式典を皮切りに、加東キャンパスや北播磨各地で約2カ月にわたって30周年記念行事を開催しました。加東キャンパスでの体験イベントや子育てに関する講座、美術展、音楽会などには、多くの市民の皆さんにご参加いただきました。

◎記念美術展

10月11日～20日／やしろ国際学習塾、22日～26日／滝野図書館ギャラリー（いずれも加東市）
創立30周年記念事業協賛会との共催。美術分野の教員が手掛けた絵画や彫塑、オブジェなどを展示。初日はやしろ国

◎同窓会研究会

国際学習塾に約400人が来場。22日からは滝野図書館に会場を移し、延べ13日間開催しました。

◎加東キャンパス

10月11日／加東キャンパス
大学院同窓会が主催。同窓生たちが「兵庫教育大学30年のあゆみとこれからの日本の教育」をテーマに議論しました。

◎大学公開イベント

10月13日／加東キャンパス
子どもやファミリー向けの体験プログラムとして、理科教室やそば打ち、箏の演奏、ニュースポーツ広場などを開き、約400人が集まりました。高校

◎特別公開講座

生を対象としたオープンキャンパスも開催。

「北播磨における 特別支援教育を考える シンポジウム」

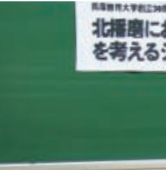
10月13日／加東キャンパス
兵庫教育大学の特別支援教育の研究者と北播磨の教育関係者らが、特別支援教育の現状と方向性についてディスカッションしました。114人が参加。

◎特別公開講座

「子育て関連出前講座」

10月18日／滝野児童館きらら、11月5





日／東条公民館、11月26日／社児童館
やしろこどもいえ(いずれも加東市)

加東市との共催。兵庫教育大学附属幼稚園の名須川知子園長をはじめ、幼年教育の専門家が保護者や子育て指導者を対象に、4つのテーマで子育ての楽しみ方を出前講座しました。延べ134人が参加。

◎特別公開講座
「中学生のための
キャリア・フェア」

11月1日／加東キャンパス
加東市との共催。加東市立の3中学校の1年生80人が11グループに分かれて、土地家屋調査士や1級建築士、中小企業診断士、弁護士、新聞記者、医師、看護師、薬剤師、鍼灸師、救急救命士、栄養教諭から仕事の内容を学びました。

◎チアリーディング演技会 &
よさこい演舞会

11月2日／加東市滝野総合公園体育館
スカイピア

加東市協賛事業。第1部は兵庫教育大学チアリーディング部「VIGOR S」や他大学、高校、社会人の4チームが競演。第2部ではよさこい部「チーム鬼灯」と北播磨地域のチームが迫力満点のよさこい演舞を披露しました。

◎特別公開講座
「子育て・職をこぼから」

11月3日／アステリアかさい多目的ホール(加西市)
加西市との共催。兵庫教育大学の田中雅和教授が、言葉が果たす重要性、豊かな感性など、言葉を視点に置いて子育てや職について講演しました。

◎特別公開講座
「子育て支援講座」

大人と子ども、共に
育ち合うかわりの創造」

11月8日／西脇市生涯学習まちづくりセンター

西脇市との共催。講師は兵庫教育大学の佐藤哲也准教授が務め、西脇市内の子育て世代の女性を中心に59人が参加しました。

◎オーケストラと
音楽分野教員との
セッション

11月23日／加東市東条文化会館コスミックホール

加東市協賛事業。「第3回加東フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会」に兵庫教育大学の木下千代准教授がソリストとして招かれ、同楽団では初めてとなるモーツァルトの「ピアノ協奏曲第

20番」を演奏しました。

◎特別公開講座
フォーラム「見つけよう
加東の歴史と文化」

11月29日／加東市滝野図書館

加東市との共催。兵庫教育大学の河村昭一教授が講演。加東市をはじめとする北播磨地域の郷土史愛好家など85人が参加しました。

30周年記念行事を終えて



学長 堀田 観一

● 大学の30周年記念行事が滞りなく終了し、ホッとしております。関係の方々には本当にお世話になり、感謝しています。特に記念事業に対して多額の寄付をいただいた30周年記念事業協賛会をはじめ、企業、関係団体の方々、大学のOBの方々、学生、院生とご家族の方々などに心からの謝意を表します。

● 本学は40周年、50周年、100周年に向けて、ますます発展していかなくてはなりません。特にこれからの数年が勝負です。教職員一同、気持ちを引き締め、新しい時代の新しい状況の中で本学の基本的なミッションを十分に果たしていけるよう頑張っていきたいと思っております。どうかこれまで同様、あたたかいご支援、ご鞭撻をいただきますよう心からお願いいたします。

自然観察会の様子。
保護者は子どもたちが“科学の森”に親しむ機会をつくってあげましょう



なぜ、子ども の理数系学力は 低下したのか

◎TEXT

いおせけいすけ
庭瀬敬右

自然・生活教育学系教授



ら高校までの内容が構造化されます。また、小学校の学習指導要領には「実感を伴った」という文言が加えられ、実生活との結び付き、実験や観察を通しての学習がより強調されたものになります。新学習指導要領の完全施行は小学校で平成23年度、中学校で24年度ですが、理数系教科は来年度から教材を整備するかたちで内容の一部が先行して実施されます【データ④】。

学力向上に必要なのは「詰め込み」か「ゆとり」か

教育方針が「詰め込み」から「ゆとり」、そして「学力重視」へと大きく方向を転換しようとしています。「詰め込み」と「ゆとり」は、学力向上にどのような役割を果たしてきたのでしょうか。和の芸道の世界に伝承されている「守・破離」という教えがヒントになるかもしれません。「守」とは師の教えを忠実に守って知識を習得することであり、「破」はその知識を自分自身の中に取り込むことです。まず知識を「詰め込み」、そこで得た知識を「ゆとり」をもって自分自身のものにするのが大切であることを示します。ゆとり教育の問題点は、学習内容や授業時間を削減してゆとりを過度に推進したために、「守」である基礎基本がおろそ

かになったことであると推測されます。

一方、詰め込み教育の問題点は、知識を表面的に詰め込みがちで、有機的につなげる「破」のゆとり教育が足りない点でした。ちなみに「離」とは独自の道を開拓する、より高い境地を示します。昔からいわれる理想的な教育とは、まず、知識を詰め込み（守）、続いて、ゆとりをもって生きた知識の強固なネットワーク化を行う（破）ことで、創造性やひらめきという自在の扉が開かれる（離）ことを指します。

詰め込み教育では、つながりなくめ込まれた知識は使われることなく朽ち果てていくようであり、ゆとり教育では獲得する知識の量が少なすぎるために知識のネットワーク化が難しいと思われる。学力向上のスタート地点に立つためには、芸道では当然とされている「修業」や「鍛錬」という言葉をもって、基礎基本の習得を見直す時期に来ているのかもしれない。

子どもたちには多くの科学的な体験を

私は、科学に関連した領域は美しく、驚きにあふれた深い森のようなものであると考えます。この森に分け入る（学ぶ）には森をよく知るガイド（先生）が必

日本は、科学技術立国として大きく発展を遂げてきました。しかし、最近の国際的な学力比較調査では、理数系の学力や学ぶ意欲の低下が示されています。文部科学省は昨年3月に「学力重視」の方針の下、新しい学習指導要領を公示しました。理数系の学力向上に期待が集まる中、家庭でも子どもの科学に対する興味・関心を高める取り組みを考えたいものです。

新しい学習指導要領で授業内容はどう変わるのか

新しい学習指導要領では、大幅に削減

されていた理数系教科の授業時間がほぼ

元の水準にまで戻っています【データ②】。特に中学3年生の理科は75%も増えます。

学習内容も、難しいとして削除されてい

たもの、例えば算数では小学3年生の小数と分数、5年生のひし形、台形の面積

などが復活します。理科では小学3年生

に風やゴムの働き、6年生に月と太陽などが新たに加わります【データ③】。

学習内容の系統性、つまり小学校、中

学校、高校での学習の円滑な接続が重視され、「エネルギー」「粒子」「生命」「地

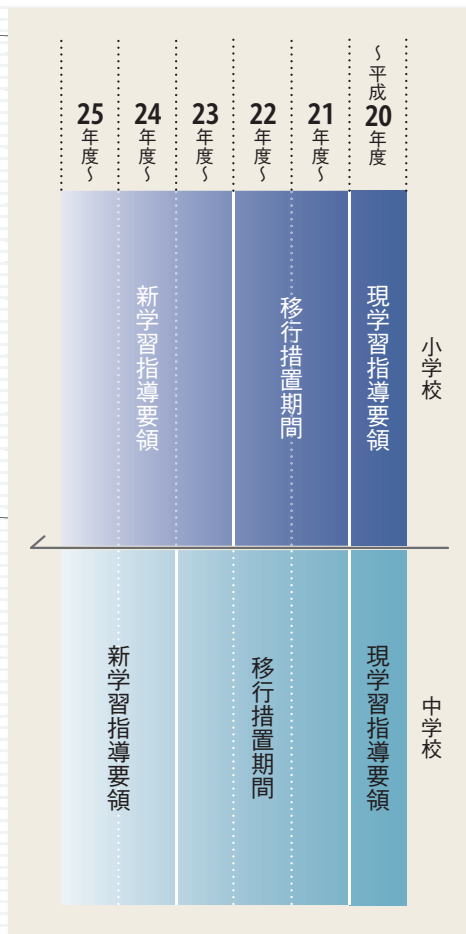
球」の4つの概念を柱として、小学校か

①「PISA」日本のランキング推移

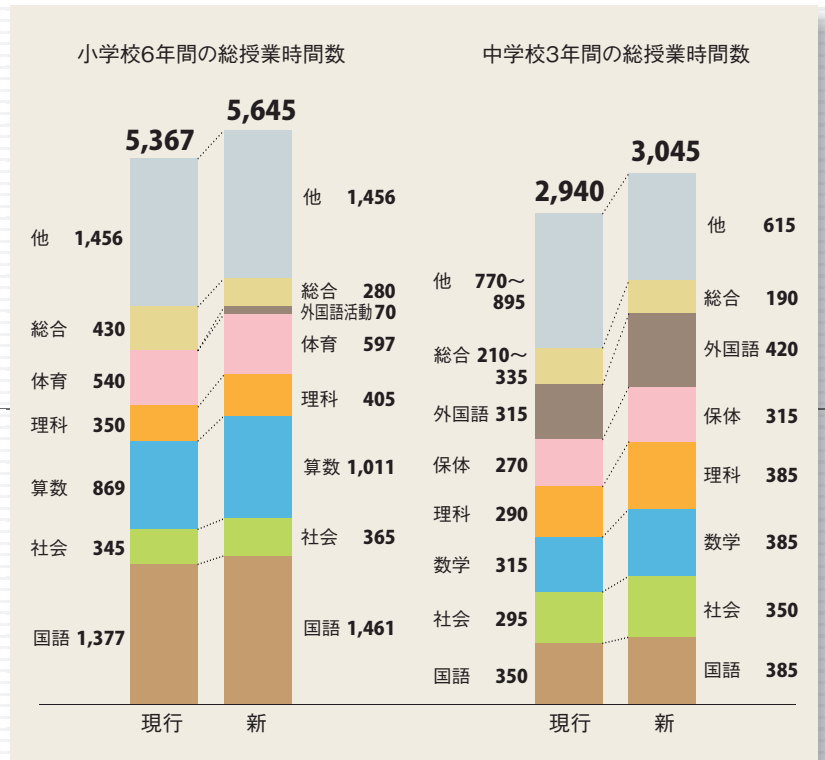
	2000年 (平成12年)	2003年 (15年)	2006年 (18年)
読解力	8位	14位	15位
数学的リテラシー	1位	6位	10位
科学的リテラシー	2位	2位	6位

※PISA…OECDによる国際的な生徒の学習到達度調査

④学習指導要領変遷年表



②現行と新学習指導要領との総授業時間数の比較



③学習指導要領改訂で増える学習内容例(数学・算数)



要です。しかし、学校で学ぶことを強い
られていて、いつしか「分からない」
「面倒くさい」「暗い」といった否定的な
レッテルを張ってしまいがちです。科
学の森の住人である科学者ですら、時
にはそのような気持ちになってしまいま
すが、彼らは、憧れによってそれらを乗
り越えています。

「宇宙はどのようにしてできたのだろ
うか」「ヒトはどこから来たのだらうか」
「心はどこにあるのだらうか」。未知へ
の憧れを強く持った科学者によって科学
は発展しています。地球温暖化のような
新たな問題が発生すれば、その解決に挑
戦する科学者が現れます。携帯電話のよ
うに昔は夢物語の道具に思われていたこ
とが今では当たり前になっています。科
学は未来の夢を実現するものなのです。

現代っ子の多くはテレビゲームが大
好きです。ただ、テレビゲームから受け
る人工的な刺激は表面的であり、五感
に訴えることが少ないのが欠点です。科
学の森に触れた体験が少ない子どもに、
さまざまな場面で現れる科学的概念を
言葉で伝えることは難しいものがあり
ます。日ごろから、子どもには博物館を
見学させたり、自然観察会や科学の催
しに参加させたりと、科学の基礎とな
る多くの体験をさせ、科学者の伝記や
科学書などで科学への憧れを育ててあ
げることが大切です。

力の向上をめざして

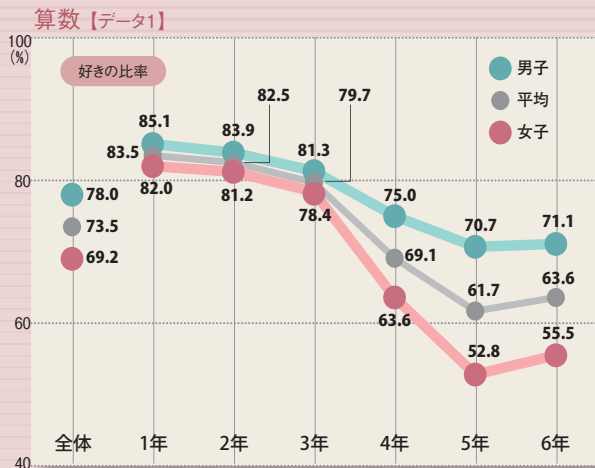
では、いかに数学・理科諸分野の魅力と楽しさ育研究に取り組んでいます。また、「大学院修プログラム」を開設。教育実習を重視し、高度員の養成に力を入れています。



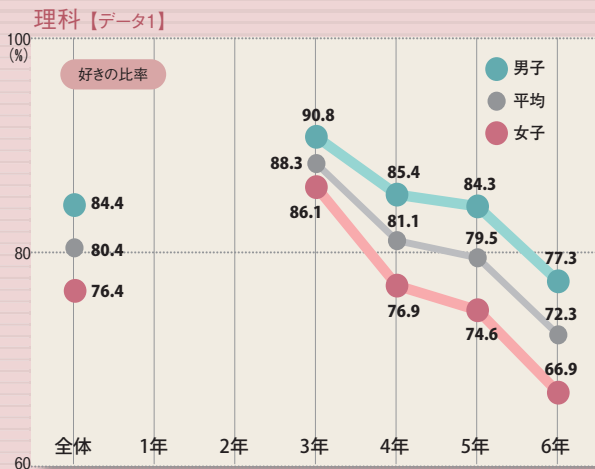
はま なか ひろ あき
濱中裕明
自然・生活教育学系准教授

理系クラスと文系クラスに分かれるのは高校ですが、「子どもの理数離れ」は小学生の時から始まっており、3、4年生から「算数や理科が好きではない」という子どもが増えていく実感があると多くの教員が口にしていきます【データ1】。

◎こどもの算数・理科に対する意識調査



「好き(とても好き+まあ好き)」の比率は学年が上がるとともに減少し、1年生83.5%から6年生63.6%になります。特に「とても好き」の低下の幅が大きく、1年生は57.1%と半数を超えているのが、6年生では22.8%と30ポイント以上も落ち込んでいます。学年ごとの変化をみますと、3年生から4年生にかけて「好き」の減少が目立っており、中学生でつまずく子が増えるようです。また、3年生までは男女差がないのに対して、4年生以降は性差が広がり、女子の苦手意識が高まる様子が分かります。



算数と同様に「好き」の比率が学年とともに減少します。女子よりも男子に好まれています。

これからの
教員に
求められるもの

まずは 教員自身が 数学好き、 理科好きに

理数離れを食い止めるためには、中学校の数学・理科教員はもちろん、小学校教員も算数や理科が好きであってほしいものです。

「算数や理科が好きですか」の質問

に「好きです/好きでした」と回答した人に「どうして好きでしたか」と尋ねると、「点数が良かったから/得意だったから」という答えがよく挙がります。しかし、理数系科目が好きなのはもっと深いものがあるはず。単に「テストの結果が良かったから」ではなく、解答を導き出す過程、「算数・理科を考えること」が好きであってほしいと思います。新しい学習指導要領でも「習得」「活用」「探究」の3つの学習プロセスが示されましたが、与えられた試験問題を解いて終わりではありません。生活の中で活用したり、自然や論理の中で自由に考え、自分なりの答えを出したりすることに算数・理科の楽しさがあるのです。子どもたちも、算数や理科は考えることが楽しい科目と認識しているようです【データ2】。

数学や理科が好きで教員は当然、「この面白さを伝えたい」という熱意があり、子どもたちが理解できるよう粘り強く教えようとするでしょう。そのような教員は自身が子どものころに必ず理数系の問題を解いて楽しかった経験があります。だから、教科書の通り一遍の内容ではなく、教材や授業を工夫し、自身が味わった感動を伝えたいと思うのです。それが次世代に算数・数学や理科の文化を伝播することになります。理数系が好きなお子さんが育つことを願っています。

【データ2】

テストでよい点をとれると うれしい教科	1位	算数 37.8% (全体)
むずかしい問題がとけると うれしい教科	1位	算数 62.3% (全体)
新しいことを知ることができて うれしい教科	1位	理科 41.6% (全体)
いろいろな考え方ができて おもしろい教科	1位	理科 38.5% (全体)
ふだんの生活に 役立っていると思う教科	1位	算数 33.9% (全体)

「Benesse教育研究開発センター／小学生の計算力に関する実態調査2007」より
Benesse教育情報サイト <http://benesse.jp/>

子どもの理数系学

兵庫教育大学学校教育学部の自然系コースを子どもたちに伝えられるかをテーマに、教士課程では今年度から「理数系教員養成特別」な専門知識と実践力を持った数学・理科の教

理数系教員養成特別プログラムとは

学校現場では以前から、子どもの理科離れや理数系教科の学力低下などの問題が数多くおこっていたことから、実践力に富んだ理数系教員の養成が必要とされてきました。また、数学や理科の教員が不足している現実もあり、今後、40～50歳代の教員の退職に伴って、ますます即戦力の教員が必要とされています。

今年度、大学院修士課程で開設した「理数系教員養成特別プログラム」は長期履修学生制度を活用し、3年間かけて高度な専門知識と実践力を持った数学・理科の教員を養成することを目的とします。学部の実地教育の多くを履修し、教育実習も中学校と高

教員不足が懸念される中 高い実践力が期待される

たけむら あつし
竹村厚司

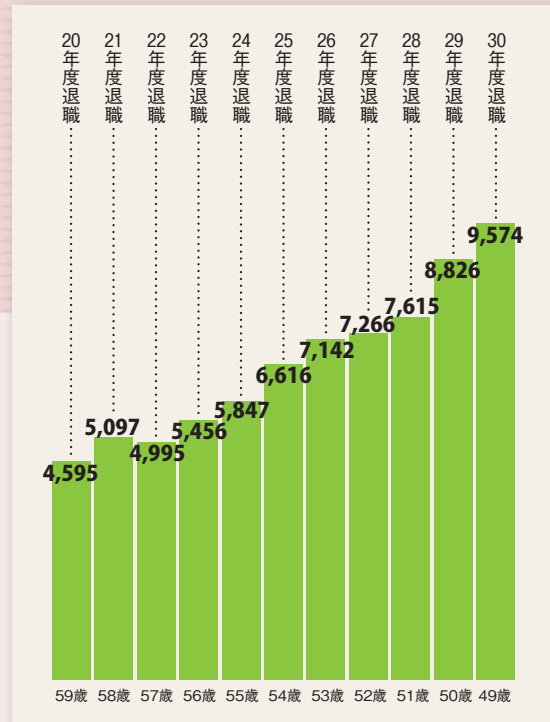
自然・生活教育学系准教授



校で行います。また、このプログラムだけの授業も開講し、学部や大学院の専門科目、課題研究などとも連携を図っています。学年ごとに担当教員を配置し、受講生へのきめ細やかなサポートもしています。

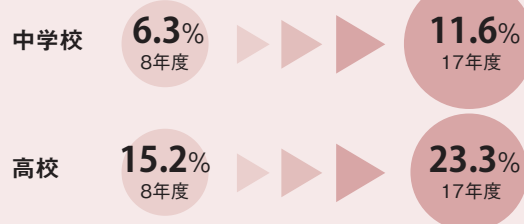
◎現任教員の世代交代が進んでいます

公立中学校の年齢別の教員構成(人)



文部科学省初等中等教育局調べ(平成17年3月31日)※年齢は20年4月1日現在

◎中学校、高校の教員採用者に占める大学院修了者の割合



◎理数系教員養成特別プログラムの特徴

- 長期履修学生制度を活用
大学院の授業料(2年分)を3年間で分割して納入します
- 大学院の教育課程と学部の教職課程を合わせて履修
- 体系的な教育実習
中学校と高校の両方で実施します
- 理科の実験指導のための授業科目が充実
- きめ細やかな就職指導
教員採用試験対策講座の実施や各都道府県の採用情報の提供、学外相談員による面接などを行います

◎教員採用試験の現状と今後の展望

今後、教員の世代交代は確実に進んでいくこともあって、理数教育の充実を図ることができる意欲の高い教員が待望されています。

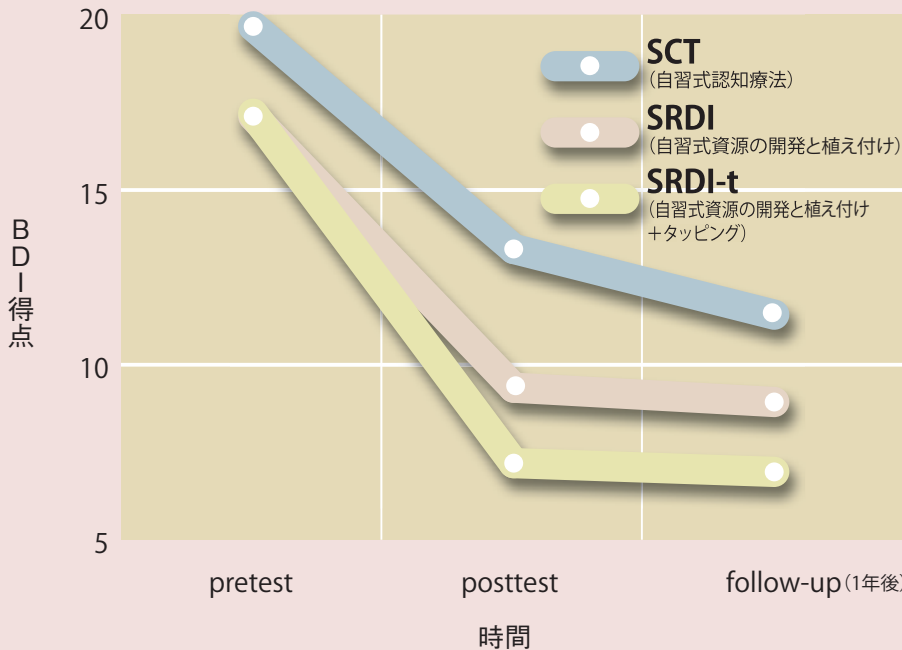


いち い ま さ や
市井雅哉
臨床・健康教育学系教授

このページでは日本学術振興会の科学研究費補助金を受けた研究を紹介し、科学研究費補助金とは、すべての分野の「学術研究」を格段に発展させることを目的に、独自の・先駆的な研究に対して助成を行うものです。基盤研究、萌芽研究、若手研究などに分かれており、基盤研究は1人または複数の研究者が共同で行う研究が対象。研究期間は2～4年です。

研究 レポート

◎BDI(ベック抑うつ尺度)得点の群ごとの変化



楽にならないことが多く、PTSD (心的外傷後ストレス障害) や抑うつなど病気のレベルにまでつながるケースもあります。つらい記憶の苦しみを治療するには、やはり、その記憶に直面しなければいけません。EMDRは眼球運動による脱感作と再処理法で、クライエントは苦痛な記憶を思い出しながら、治療者が左右にリズムカルに動かす指を両目で追いかけます。催眠のように受け取

られがちですが、クライエントはかなり素早く目を動かすので、意識の覚醒レベルが低くなることはありません。このような眼球運動は脳内のネットワークを刺激し、その人のほかの記憶との連想を活性化させます。過去の記憶に没頭し、圧倒されそうな状態から注意を「今、ここ」の安全な面接室へ向ける機能、左右の脳を活性化し、記憶を言語化、分析する機能などを与えてくれます。それによって「あの出来事はもう終わったこと」「あんなことはそうそう起こらない、もし次に起こっても対処できる」と思えるようになります。従来のPTSDの治療は、逃げないで、ひたすらしんどさに耐えるものでしたが、EMDRはクライエントにかかるストレスが少ないといえます。

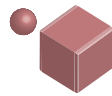
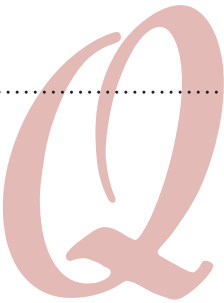
自己否定感の強い人の治療では、まず、その人が持つ肯定的な記憶を活性化する(五感も含めて思い出しってもらう)こと(RDI…資源の開発と植え付け)が重要です。やや抑うつ気味の学生を集めて約1週間、認知療法とRDIの比較実験を行いました。学生に嫌な出来事を経験したときの自分の思考を書きだしてもらい、その思考をより合理的な考えに改めていく認知療法的な介入群(SCT)と、肯定的な過去の出来事を思い出し、それを五感で感じて肯定的な記憶を探すRDI群(SRDI)の介入、さらにそこに左右交互のタッピング刺激(眼球運動の代替刺激)を加える介入(SRDI-t)群…記憶を想起した状態で、腕を胸の前で交差し、自分で自分の上腕をゆっくりしたりズムで軽く叩くことで肯定的な身体感覚が定着するといわれる)の比較です。

その結果、BDIという抑うつの得点などの群も低下し、それは1年後まで維持されました【グラフ】。群間の差は大きくなかったですが、訓練初日はRDIの方が認知療法より混乱がなく、受け入れがスムーズでした。今回の結果では、肯定的な記憶に関しては左右交互の刺激の効果がまだはっきりと分かっています。学生と実際のクライエントではデータにさまざまな違いもあります。結果をどこまで広げて考えるかは慎重が必要が必要です。

カウンセリングや心理療法では、クライエント(受診者)の話を十分に聞くことが大事であると考えるのが一般的

です。しかし、事件や事故、虐待、大失敗や見捨てられた記憶がある人は、ただ自分のペースで語り、受け止めてもらうだけでは

EMDRの抑うつ・PTSDに対する効果の基礎的研究 (平成18～21年度科学研究費補助金・基盤研究に採択)



最近、大学生や高校生の大麻乱用、売買が相次いでいます。
その背景には学校教育にも問題があるのでしょうか。



Q&A

違法薬物の乱用は現代社会が抱える最も深刻な問題の一つであり、個人の健康を著しく傷つけるばかりでなく、社会全体に暗い影を落とします。日本の実刑判決を受けた犯罪のうち、実に3分の1は薬物乱用が絡むものです。

その依存性の高さから、薬物乱用は再犯率が極めて高いのが特徴です。薬物乱用をなくすにはなによりも「一次予防」、薬物に手を出すのを防ぐことが第一の対策となります。Drug Free-薬物のないクリーンな社会を築くため、世界各国は共通して教育、特に学校教育を通じた予防を最も重視しています。

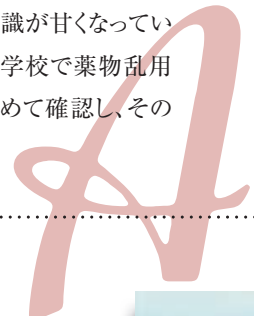
今回のような事件の報道が相次ぐと、薬物乱用が急速に拡大したように思われがちですが、私たちの最近の調査では、日本の大麻乱

用経験率は中学生で0.5%、高校生で1.0%、大学生を含む18～22歳の若者では1.4%であり、これは米国の同世代の経験率、15.7%、31.8%、42.3%に比べて極めて低い数字です。日本が世界でも薬物乱用が少ない要因としては、学習指導要領に小学校、中学校、高校の各段階で薬物乱用の危険について指導することを明示し防止教育を実践していることと、日本の社会が薬物問題に対して厳しい姿勢をとっていることなどが挙げられます。

しかし、今回の大麻問題の背景には、ここ10年ほどで社会の薬物への認識が甘くなっていたことにあります。今こそ、各学校で薬物乱用防止教育の重要性をあらためて確認し、その充実を図ることが大切です。



かつの じんご
勝野真吾
理事、副学長



教員の 著書紹介



Books



「日本のこころ」の底ちから 「日本を消す教育」から「日本の見える教育」へ

(毎日ワンス・平成20年刊)
著者：上寺久雄(名誉教授、第2代学長)

近年、「日本の伝統や文化をもっと子どもたちに伝えよう」という機運が高まっている。新しい教育基本法にも、改訂された学習指導要領にも、そのような趣旨がうたわれている。

そんな折も折、上寺久雄名誉教授の著書『「日本のこころ」の底ちから』が刊行された。副題の「日本を消す教育」から「日本の見える教育」へが、この本の言わんとするところが如実に語っている。

推薦人：梶田毅一学長

※教員の著書は附属図書館で閲覧できます。詳しくは学術情報課 ☎0795-44-2062 へ問い合わせてください。



子どもを伸ばす 情動知能の育成

(明治図書・平成20年刊)
編著：松村京子(臨床・健康教育学系教授、附属小学校長)

近年の子どもの暴力行為、いじめ、不登校などの問題解決には、従来の学術的知能に加えて、「情動知能」の重要性を主張する動きが見られます。情動知能とは、自己と他者の情動変化に気づいたり、相手の情動を推し測ったり、情動の表出をコントロールしたりすることができる能力です。附属小学校では平成14年度から6年間、文部科学省研究開発学校の指定を受けて「人間発達科」を設置し、「情動知能を育む教育プログラム」の開発に取り組んできました。本書はその教育実践をまとめたもので、これを基にして情動知能を育む教育が広がればうれしいです。

ち密な議論の中に 新たな発見をめざして



私たちの先生

大関達也 講師
基礎教育学系

背筋をぴんと伸ばし、さっそうと

キャンパスを歩く姿。笑顔がさわやか

な大関達也先生は結婚2年目の若く

てエネルギーシユ

な方です。先生の

専門は教育哲学。

ドイツの哲学者、

H・G・ガダマー

の思想から「教養

とは何か」「差異

や異質な者同士の

コミュニケーション

の可能性の追

究」といった教育

の根幹を問う研究

をされています。

週1回のゼミで

は、学生が自身の研究成果を発表し、

質問や意見を交わすことで互いの考

察を深めています。発表者がレジュメ

楽しいゼミですが、発表する時はいつも緊張します



を読み上げ、学生たちが質問や意見を述べている間、先生は黙ってそのやり取りを聞いています。ゼミ開始から

1時間が過

ぎ、学生た

ちの意見も

尽きるころ、

先生はいよ



いよ問題の核心を突く、発表者が見えていない部分に対する質問を投げかけます。そこで発表者は自分の勉

強不足を自覚するのです。

先生は論文を書くうえで重要な問

いの立て方、議論の展開の仕方など

を細かく指導してくださいます。夜

の10時を回っても論文の添削や個別

指導など、学生のわがままにも真摯

に応えてくださいます。

データを分析したり、教育内容を

開発したりするような

実践的な研究とは違って、

哲学的、教育的な文献

研究は大きな発見や華や

かさには欠けませんが、私

たちはち密な議論の中に

新しさが垣間見える研究

をめざしています。先生

の言葉をお借りすれば「小

さな石ころを積み重ねる作業」です。

これからもゼミ生一同、先生の背中を

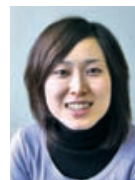
見ながら学んでいきたいと思えます。

大関達也 おおぜき・たつや

北海道生まれ。平成16年、広島大学大学院博士課程後期修了後、同大学院助手になる。17年から兵庫教育大学大学院講師に着任。ドイツの哲学者、H・G・ガダマーの思想を中心に、教養や対話の理論に関する研究に取り組んでいる。

さききみちこ 佐々木暢子さん

大学院修士課程教育コミュニケーションコース2年



先生から学生たちへ



着任して4年目ですが、これまでにさまざまな学部生や院生に出会いました。「哲学や思想を知りたい」と研究室を訪ねてくる学生や、「教育の理論を基礎から学びたい」と読書会に招いてくれる学生もいて、その学ぶ意欲の高さにはたびたび驚かされます。

大学で学ぶ理論は皆さんが容易に理解できるものではないかもしれません。カタカナや漢字の多い学術用語に違和感を覚える人も多いことでしょう。しかし、そのように感じたときは自分のリテラシーの問題を反省しつつ、納得のいくまで教員に質問してほしいものです。「それで、その理論によって子どもたちの学びはどうなるのですか?」と。こんな問いに究極の答えはありませんが、共に知恵を出し合っ



卒業生からの 手紙

現場復帰で感じた教員の仕事の重み

教職に就いて20年。長いようで短かった20年間で、いろいろな経験をさせていただきました。三田市立あかしあ台小学校に勤務する前は、三田市教育委員会学校指導課で情報教育関係などの事務を3年間担当しました。企業、議員、教職員などが相手の仕事でしたが、教員では味わえない多くの経験もあり、かつ学校を客観的に見ることができました。

しかし、学校現場に戻ってみると、子どもたちの前に立たなかった3年間はあまりにも大きなブランクでした。仕事で戸惑うことも多く、「命」を預かることの重さをあらためて実感しました。そんな重圧を解きほぐし勇気を与えてくれたのが、子どもたちの明るい笑顔でした。子どもたちの「真っ白な心」で一生懸命に学校生活を送る姿を見るにつけ、この子たちをしっかりサポートしなければと感じ、身の引き締まる思いで毎日を過ごしています。

現任校に赴任して丸6年がたち、4月には異動を迎えます。教員の仕事は楽しいことばかりではないですが、どの学校も「宝箱」だと捉え、これからも「真っ白な心」を持つ子どもたちを応援していきたいと思っています。

むら たしゅういち
村田修一さん



三田市立あかしあ台小学校教諭

豊岡市出身。平成元年、大学院修士課程自然系コースを修了。三田市立の小中学校臨時教員、小学校教諭、三田市教育委員会学校指導課(現学校教育課)指導主事を経て、15年に三田市立あかしあ台小学校に着任。今年度は4年生を担当している。

子どもたちの笑顔がエネルギーになります



なが おまり こ
永尾真梨子さん

兵庫教育大学総務部財務課課員

三本市出身。平成14年に学校教育学部学校教育専修コースを卒業。15年10月、国家公務員Ⅱ種試験に合格し、兵庫教育大学の職員となる。19年4月、財務課に異動。現在は育児休業中で、10月から職場復帰する。

産休前は収入に関する事務を担当していました



平成15年10月、母校である兵庫教育大学の事務職員になり、庶務課に配属されました。在学中に事務局で足を踏み入れたことがあるのは1階の教務課と学生課だけで、庶務課に至っては存在すら知りませんでした。最初のころは、イメージしていた大学の仕事とは全く異なり、大いに戸惑いました。数え切れないほど失敗もありましたが、上司や先輩の方々が支えてくださいました。一昨年には財務課に異動し、また一からのスタートとなりました。一口に大学の事務と言っても、教育支援、研究支援など多岐にわたることをあらためて感じました。

現在は育児休業中です。初めての育児に日々奮闘しています。体力的にきつと感じることもありますが、それでも日々成長していく子どもの姿は、私に力を与えてくれます。母親となった今、教員をめざす後輩の皆さんが、教育の場で子どもを指導し支援していく力をしっかり身に付けられることの大切さをより強く感じています。

今年10月からは職場復帰し、仕事と育児を両立させなければなりません。目の前の課題と一つ一つ向き合い、成長していきたいと思っています。

母親になって教育の大切さを再認識



スポット
ライต์

なかいちえ 中井千恵さん
おまてようこ 表陽子さん
大学院修士課程 芸術系コース2年
大学院修士課程 芸術系コース1年

中井さんは平成19年に大学院に入学後、表さんは16年に学校教育学部芸術系コース(美術分野)に入学してから本格的に絵画を始める。昨年、中井さんは「トーキョーワンダーシード2008」「第3回シンジュクアートインフィニティ」に入選。表さんは西宮市で初の個展を開催した。

兵教大生では初 地元加東市の 手作り文庫の カバー絵を制作

中井さんのモチーフは人物が中心。「顔に異物を含むヒト」(上段)は「第3回シンジュクアートインフィニティ」の入選作。表さんの代表作「そこにあること」はカメムシの死骸を目にしたことをきっかけに描き始めたとか

●かとう手作り文庫とは

旧滝野町で平成11年、市民からテーマに沿った文章を募り、1冊の本にしたのが始まり。これまでに「心に残る一言」「ちょっといい話」などテーマを変えて7回刊行されました。今回の「みんなの夢の物語」は加東市になってから初めての発刊で、兵庫教育大学の学生が表紙絵を手掛けたのも初めての事です。



昨年12月に発刊された「みんなの夢の物語」。カバー絵はハートフルな仕上がりとりました

昨年12月に加東市が発刊した「かとう手作り文庫『みんなの夢の物語』」は、市民から「夢」をテーマに文章を募集して一冊にまとめたものです。中井千恵さんは裏表紙、表陽子さんは表紙の絵を描きました。「大西久先生(体育・芸術教育学系准教授)を通して、お引き受けしました。本の表紙絵は初めてでしたので、最初は少し戸惑いましたね」と表さん。中井さんと表さんは応募作品を読んで絵のイメージを膨らませました。中井さんは「それぞれが夢を持って旅立つ象徴」として空に浮かぶ気球を、表さんは「次代に夢を託していく連続性を表現したかった」と、子どもたち

が赤ちゃんを見守る様子を
描きました。

カバー絵は

やわらかいタ

ッチで仕上げ

ましたが、現

在は中井さん

が主に具象画、

表さんは抽象

画に取り組ん

でいます。昨

年、中井さんは

東京の2つの現

代

アート展に入選し、9月には西宮市のアトリエ風姿花伝で二人展を開催。表さんも、中井さんの二人展が終



わった後、同じ場所です。初めての個展を開きました。

中井さんは相次

ぐ入選で作家とし

ての自信を深めつ

つも、今春には高

校の臨時教員にな

ることが決まっ

ています。「教員に

なるのは夢でした

が、正直、今は絵で勝負したい思い

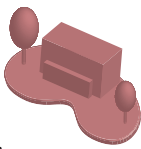
もありです。当分は仕事の傍ら制作

活動を続けていくことになりませぬ」と複雑な胸中をのぞかせます。

と複雑な胸中をのぞかせます。

一方、来春に中学校の美術教員をめざす表さんは、今年は制作活動でも飛躍の年にしたいと意気込みます。「中井さんがコンクールで入選されているのを見ると刺激になり、私も頑張らなければという気持ちになります」。

絵を描くことについて、中井さんは「自分の考えを伝える手段。楽しいことや苦しいこと、その時々々の気持ちを意識していなくても作品に表れます」。表さんは「キャンパスに向かっていてる時は自分を見つめ直す機会になります」と話します。将来、教員になった2人はキャンパスにどのような心を投影するのでしょうか。



これに夢中!



うめ その しん こ
梅園晋吾さん

学校教育学部総合学習系コース3年



昨年8月の長野県菅高原合宿にて(後列中央の黄色いTシャツが筆者)



ポジションは右ロック。背番号「5」(オレンジのヘッドギア)です

みんなで二丸となつて
念願の昇格へ
喜びを分かち合いたい

中学、高校時代は美術部員だった私にとって、ラグビーはとても怖いスポーツというイメージしかありませんでした。大学に入学して間もなく、先輩から半ば強引に勧誘され、現在に至っています。

そんな私も今ではすっかりラグビーのとりこになりました。毎日の練習はきついですが、グラウンドに足が向いてしまうのは先輩や後輩、OBがいるラグビー部の雰囲気が好きだからだと思います。私はまだまだ下手ですが、いつも周りの人たちが叱咤激励してくれます。

昨年、Dリーグで優勝を果たしましたが、入れ替え戦で負けてしまいました。今シーズンの大目標はもちろん、Cリーグへの昇格。昇格すれば今までに味わったことのない喜びが待っているのだろうとわくわくします。みんなと喜びを分かち合いたいです。

C o n g r a t u l a t i o n



かね ちか けん た ろ う
兼近健太郎さん

学校教育学部生活・健康系コース4年

2008年度関西学生バスケットボール秋季3部Bリーグ最優秀選手賞受賞

チーム全員で意識を高めたことがリーグ戦の好成績に

バスケットを始めたのは中学時代。大学では違うスポーツを経験したいと、サッカー部に入ることを決めていました。しかし、先輩や友人からの熱心な誘いに加え、名将、市谷浩一郎監督の「ここであきらめたら試合終了ですよ」の一言で、もう一度バスケットを頑張ろうと決意しました。

しかし、チームはなかなか思うような結果を出せない中、私はキャプテンになり、市谷監督がチームを離れることになりました。これを機にチーム全員で自分たちに

ダンクシュートが得意です



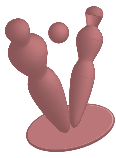
足りないものを自覚し、今まではおろそかにしていた走り込みや基本練習を徹底するようにしました。そして、一昨年は4部リーグで、昨年は3部リーグで優勝するまでに成長しました。最優秀選手賞はチームを代表して頂いたものだと思います。バスケットを通してお世話になった方々に心から感謝したいです。

➔【文化・スポーツ部門受賞者】
平成20年秋

関西学生バスケットボール秋季3部Bリーグ
▶優秀選手賞 延堂亮さん(自然系コース4年)
▶得点王 加藤達也さん(言語系コース2年)
▶3P王 松本昂大さん(総合学習系コース3年)

関西学生バレーボール秋季4部リーグ戦
▶優勝 男子バレーボール部
第46回近畿地区国立大学体育大会
▶優勝 男子バレーボール部、軟式野球部

▶剣道男子個人準優勝 雨宮久仁さん(自然系コース2年)
第15回「原子力の日」ポスターコンクール
▶一般部門入選 丸山由華子さん(附属中学校1年)



うれしの交差点

～兵庫教育大学と地域の交流ページ

↓ダイナミックなステージを披露したVIGORS。初めてチアリーディングを見る人も多く、客席のあちこちから感嘆の声が上がりました



ルポ

チアリーディング部「VIGORS」

チアリーディング部「VIGORS」は

大会に向けての練習の傍ら

地域のイベントなどにも積極的に参加。

ダイナミックなステージを通して

チアリーディングの魅力を発信しています。

↓部長の三木さん(右)と伊東さんは進行役としても活躍



↑創立30周年の感謝の気持ちを込めて、ポンポンで「30」を表しました

◎チアリーディングとは

約100年前のアメリカでスポーツの応援を目的に生まれ、1980年代からは競技としても脚光を浴びるようになりました。現在、日本の大学のチアリーディング部も応援と競技チームに大別されており、VIGORSは競技を専門に活動しています。



地域のイベントに出演し 観客に元気を届けています

昨年11月2日、兵庫教育大学は創立30周年記念事業の一つとして、加東市の滝野総合公園園体育館スカイピアで「チアリーディング演技会&よさこい演舞会」を開催しました。第1部の演技会にはチアリーディング部「VIGORS」をはじめ、大学、高校、社会人の4チームが参加しました。トップに登場したVIGORSは軽快な音楽に乗ってダンスとスタunts(組み体操)を組み合わせた演技を披露。アクロバティックな大技や一糸乱れぬラインダンスに、観客席からは大きな拍手がわき起こりました。出演後も、部長の三木直子さんと伊東陽子さん(ともに学部3年生)は第1部の進行役を務め、残りのメンバーたちもステージ脇から他チームの演技に声援を送りました。

平成4年に発足したVIGORSは、23人のメンバー全員が学部の女子学生。春の西日本選手権と秋の全日本学生選手権をめざして、週4回の練習に励んでいます。昨春、三木さんが部長に就任してからは、練習も兼ねて地域のイベントにも積極的に参加するようになりました。

「私がチアを始めたのは、入学してすぐのクラブ紹介で先輩たちのはつらつとした姿から元気をもらったのがきっかけ。自分が味わった感動を地域の人たちにも伝えられたらと思いました」と三木さん。

今年度は加東市や小野市の体育祭などのイベントに出演したほか、秋には、加東市立幼稚園



イベント報告

オリンピック選手を迎え フォーラムと陸上教室を開催

▶質問に答える山口さん



◀銅メダリストからのアドバイスは子どもたちにとって貴重な体験となりました

昨年10月19日、北京オリンピックの4×100mリレーで銅メダルを獲得した朝原宣治さんと、加東市出身でシドニーオリンピック女子マラソン7位入賞の山口衛里さんを迎え、フォーラムと陸上教室「加東からオリンピックへ」を開催（加東市主催、兵庫教育大学共催）。あこがれのオリンピック選手見たさに、加東市内の小中学生や保護者ら約1,000人が集まりました。

フォーラムでは、子どもたちが2人に「どうしたら速く走れるのですか」「競技をやめたいと思ったことはありませんか」などと質問攻め。グラウンドで開かれた陸上教室では、朝原さんがスタートの方法やフォームなどをアドバイスしました。朝原さんと兵庫教育大学や県立社高校の陸上部員らによるエキシビジョンレースもあり、大いに盛り上がりました。

「日本文化理解教育プログラム」の 充実を願い 裏千家から茶道具一式の寄贈

今年度から大学院修士課程で始めた「日本文化理解教育プログラム」の充実を願って、昨年11月12日、裏千家から茶道具一式が寄贈されました。関根秀治裏千家事務総長は梶田学長に目録を贈呈した後、「日本文化生活教材の指導研究」の特別授業を開講。大学院生たちに茶道の基本的な所作などを指導しました。



◀関根秀治裏千家事務総長（後方）による特別授業

▶寄贈された茶道具の一部

Ureshino Scramble

学生クラブ・団体の主な地域交流・貢献活動

団体名	活動の目的・概要	平成20年度に参加した主な地域イベントなど
女子サッカー部「クークース」	サッカーを通して青少年の健全な発達に貢献することをめざしています。	毎週木曜に地域の子ども（発達障害のある子どもも含む）を対象に加東キャンパスのグラウンドでサッカー教室を開催。
チアリーディング部「VIGORS」	地域のイベントに出演。幼稚園や小学校を訪問し、子どもへのダンスの指導もしています。	加東市民体育祭（9月）、チアリーディング演技会 & よさこい演舞会（11月）、加東市立社幼稚園誕生会（11月）、小野市里山フェスタ（11月）、東条湖物産展（11月）
児童文化研究部	子ども向けの人形劇を公演。子どもとのふれあいを通して、教員としての資質の向上をめざしています。	加東市内の学習塾で公演（4月）、加東市内の新1年生を対象に公演（2月）
ボランティアサークル	主に加東市内の子ども会活動や福祉活動に参加し、企画や運営の補佐などに当たっています。	小野市立コミュニティセンターおおのの「ふれあいボプラの子」の指導員（月1回）、鴨川桜まつり「ちびっ子ゲーム」（4月）
よさこい部「チーム鬼灯」	地域のイベントや祭りに出演したり、地域の人たちによさこいを指導したりして交流を図っています。	頼政祭（4月）、小野まつり「おの恋おどり」（8月）、韓国・大邱教育大学校での交流イベント（9月）、三木市立星陽中学校「チーム飛羽我」を指導（10月～11月）、チアリーディング演技会 & よさこい演舞会（11月）
吹奏楽部	定期演奏会や新入生歓迎コンサート、クリスマスコンサートのほか、地域のイベントにも出演しています。	わかばコンサート（5月）、加東プラスフェスタ2008（7月）、加東市菊と文化のフェスティバル（11月）、第25回定期演奏会（3月）

▶幼稚園の誕生会に参加。園児からの「GO! VIGORS!」の掛け声に決めのポーズ



の誕生会にも参加。誕生日を迎えた園児たちには、2人で組んだベース（土台）の上に立つ「ダブルベース・サイ・スタンド」を体験してもらいました。その時は「おっかなびっくりの様子だった」園児たちでしたが、帰り際には「私もチアをやりたい」という女兒の声も聞かれたとか。「地道な活動を通して、チアのすそ野を少しでも広げていきたいです」と伊東さんは話します。

三木さんや伊東さんは今春から4年生。クラブの慣例として、新4年生は夏の教員採用試験の勉強に専念するために一線から身を引き、3月の西日本選手権からは下級生たちで臨みます。「現在の先輩もされていますが、試験勉強の合間に幼稚園や小学校でチアを教えたいです」と三木さん。伊東さんも「子どもとふれあう機会は将来にも役立つと思います」と口をそろえます。

VIGORSの名前の由来は英語で「元気」を意味する「vigor」。チアを通して地域に元気を与えたいと、三木さんたちが始めた取り組みは、クラブの活動の一つとして定着していくことでしょう。

◎平成21年度
大学院学校教育研究科
第2次学生募集

◀修士課程▶

◎学生募集人員

▶学校教育学専攻		
教育コミュニケーションコース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	若干人
幼年教育コース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	若干人
学校心理学コース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	若干人
臨床心理学コース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	若干人
▶特別支援教育学専攻		
心身障害コース		10人
特別支援教育コーディネーターコース		若干人
▶教科・領域教育学専攻		
言語系コース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	若干人
社会系コース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	若干人
自然系コース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	若干人
芸術系コース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	若干人
生活・健康・総合内容系コース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	若干人

◀専門職学位課程(教職大学院)▶

◎学生募集人員

▶教育実践高度化専攻		
学校経営コース		8人
授業実践リーダーコース	昼間クラス	5人
	夜間クラス	若干人
心の教育実践コース	昼間クラス	5人
	夜間クラス	若干人
小学校教員養成特別コース		若干人

◎出願期間 2月16日(月)～20日(金)(必着)

◎試験日 3月8日(日)(筆記、口述)

◎合格者の発表 3月19日(土)16:00

※昼間クラスと夜間クラスのあるコースは昼夜開講制です。昼間クラスは加東キャンパスで、夜間クラスは主に神戸サテライト(神戸市中央区)で開講します。

※言語系コースには国語分野と英語分野、自然系コースには数学分野と理科分野、芸術系コースには音楽分野

と美術分野があります。

☎入試課 ☎0795-44-2354, 2067

◎大学院学校教育研究科説明会

大学院学校教育研究科(修士課程、専門職学位課程)の教育課程や専攻・コースの概要などについて説明します。個別相談の時間も設けます。

◎日時 2月7日(土)13:30～15:00

◎場所 神戸市総合教育センター(神戸市中央区)

☎☎入試課

☎0795-44-2354, 2067 ☎0795-44-2069

☎office-nyushi-k@hyogo-u.ac.jp



◎大学院入学相談室

大学院学校教育研究科(修士課程、専門職学位課程)への入学を考えている人を対象に相談(30分程度)を受け付けます。

◎開設日 毎週木曜(1週間前までに要予約)

◎場所 神戸サテライト(神戸市中央区)

☎☎企画課

☎0795-44-2008 ☎0795-44-2009

☎office-kikaku-k@hyogo-u.ac.jp

◎芸術系音楽コース
第27回定期演奏会

音楽コースの教員と学生が演奏します。入場無料。

◎日時 2月7日(土)14:00～(13:30開場)

◎場所 兵庫教育大学講堂

☎☎学生支援課

☎0795-44-2050 ☎0795-44-2049

◎学部卒業演奏会

今春に卒業する音楽コースの学生が4年間の研究成果を披露します。入場無料。

◎日時 2月21日(土)14:00～(13:30開場)

◎場所 兵庫教育大学講堂

☎☎学生支援課

☎0795-44-2050 ☎0795-44-2049

◎兵庫教育大学美術展

学部生、大学院生、附属幼稚園・小学校・中学校の児童生徒による合同作品展。入場無料。最終日にはギャラリートークも。

◎日時 3月4日(土)～8日(日)10:00～18:00

(最終日は15:00まで)

◎場所 兵庫県立美術館ギャラリー(神戸市中央区)

☎☎学生支援課

☎0795-44-2050 ☎0795-44-2049



◎吹奏楽部
第25回定期演奏会

吹奏楽部の学生が日ごろの練習の成果を披露します。

◎日時 3月7日(土)14:00～(13:30開場)

◎場所 小野市うるおい交流館エクラ

◎入場料 500円(中学生以下無料)

☎☎学生支援課

☎0795-44-2050 ☎0795-44-2049

◎教員就職率が
5年連続で全国第1位に

昨年12月24日に文部科学省が発表した「国立の教員養成大学・学部(教員養成課程)の就職状況」で、兵庫教育大学の平成20年3月学部卒業者の教員就職率は83.5%と5年連続で全国第1位に輝きました。全国平均は前年比0.2ポイント減少の56.7%で、前年並みの就職率を維持しています。

兵庫教育大学ではこれからも教員採用試験対策講座の開講、後輩へのアドバイスを含めた受験報告書の集約、就職の手引きの作成・充実などに力を入れ、就職支援の強化を図ります。

編 集 後 記

●旅をしてきました。小澤蘆庵という江戸の歌人は「今はよに心とめじと思ひしを花こそ老いのほだしなりけれ」と詠んでいます。梅花、桜花に心を向ける思いを大切にしたいと思う道程でした。(な)

●社会の歪みをひしひしと感じる昨今です。子どもたちが、未来に希望を持って学ぶことができる活力ある社会がよみがえってほしいものです。彼らの一番近くにいる在学生や卒業生・修士生のみならず、今こそ使命感をもって頑張ってください!「教育子午線」のバックナンバーは本学ウェブサイト<http://www.hyogo-u.ac.jp>をご覧ください。ただけです。(い)

◎あなたの声をお聞かせください

「教育子午線」では、読者のみなさまの声を生かした誌面づくりをめざしています。はがきかメールでご意見、ご感想を寄せていただいた方には、オリジナル・シャープペンシルを進呈します。

●あて先:〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1
兵庫教育大学企画課広報・社会連携事務室

☎0795-44-2334 ☎0795-44-2009 ☎office-renkei-r@hyogo-u.ac.jp

教育子午線
Kyoiku-Shigosen

第19号 2009年2月発行
発行/兵庫教育大学 大学広報室
<http://www.hyogo-u.ac.jp>
編集協力/㈱神戸新聞総合印刷